

「森林総合監理士（フォレスター）活動報告」

関東森林管理局 下越森林管理署
森林技術指導官 石田 健

1 課題を取り上げた背景

平成24年度准フォレスター研修を受講し、国有林フォレスターとして地域の森林・林業再生に貢献するために取り組んできた活動について報告するものです。



図1 森林作業道現地検討会の様子



図2 森林施業検討会の様子

2 具体的な取組

活動その1

平成24年度中越流域准フォレスター等会議の開催

活動その2

森林作業道現地検討会の開催

活動その3

平成25年度中越流域准フォレスター等現地検討会の開催

活動その4

森林整備推進協定の締結

活動その5

森林づくりの提案（提案型集約化施業）

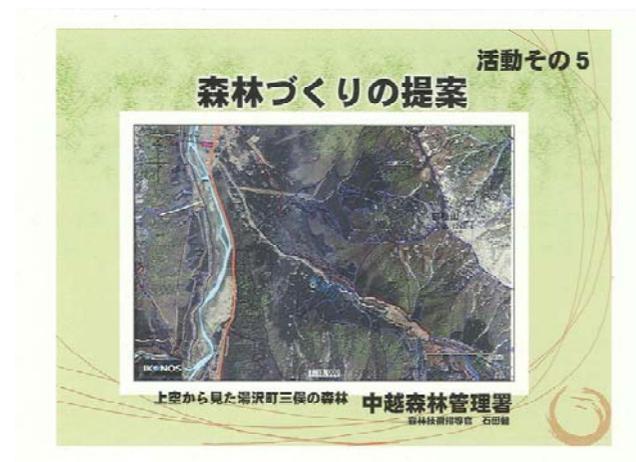


図3 提案型集約化施業とりまとめのための地区への配付資料

3 取組の成果

町全域を森林整備推進協定区域として協定を締結することが決定したこと、提案型集約化施業を進めるために必要な森林施業プランナーの育成が始まったこと、また、提案型集約化施業のために町からの協力が得られたこと、中越流域フォレスター等の連携が強化されたことが成果としてあげられます。

4 まとめ

地域の森林・林業の再生に向けた構想について、関係者の合意形成が図られつつあり、今後もPCDAサイクルに基づいて構想の実現に向けて活動を続けていきます。

とにかく行動を起こすこと、黙っていても、動かなくては、物事は進みません。